

Arm 系 CPU 搭載パソコンの プリンタードライバー 設定手順

2024/12/03

Arm 系 CPU 搭載のパソコンをご利用の方は、本手順書に沿って設定を進めてください。

目次

CPU の確認方法	2
プリンタードライバー 設定手順	3
I プリンタードライバーのダウンロード	3
II プリンタードライバーのインストール	5

CPU の確認方法

1. Windows キーを押下します。
2. 「設定」をクリックします。
3. システム>バージョン情報の順にクリックします。



4. プロセッサの項目を確認し、「Snapdragon X Elite/Plus」の記載があれば、Arm 系 CPU 搭載のパソコンです。



プリンタードライバー 設定手順

I プリンタードライバーのダウンロード

1. 注意事項(1)～(3)を確認後、ダウンロードリンクへアクセスし、プリンタードライバーをダウンロードします。

<注意事項>

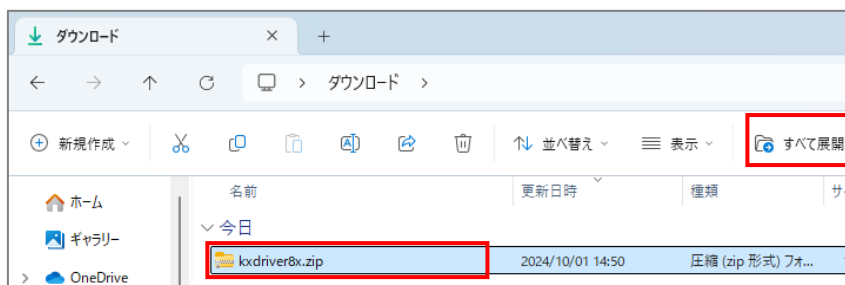


- 1) 大阪工業大学の関係者のみダウンロードできます。
- 2) リンクを開くと自動でダウンロードが始まります。
- 3) zip 解凍後のフォルダに保存されている、以下のドキュメントを確認することを条件に利用できますので、必ず確認してください。
¥Setup¥EULA¥License_JA.rtf

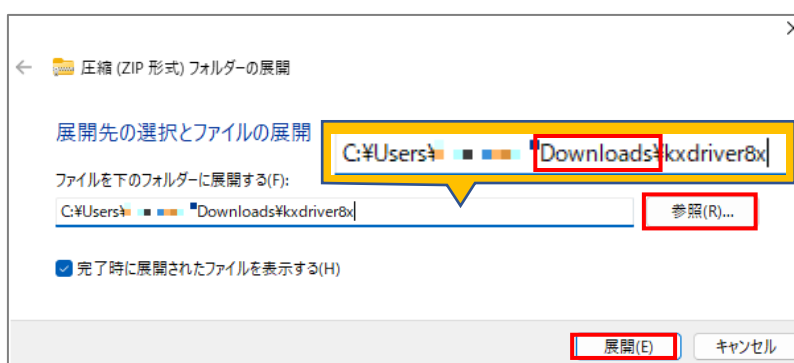
↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

[ダウンロードリンク](#)

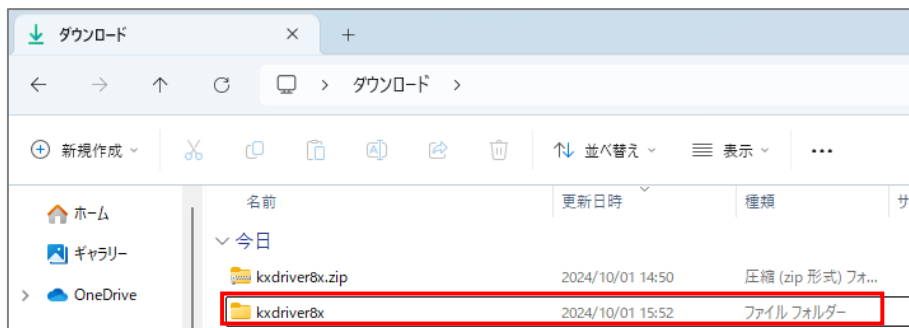
2. ダウンロードした zip ファイルをクリックで選択状態にし、「すべて展開」をクリックします。



3. 「参照」をクリックし、展開先をダウンロードフォルダに指定し、「展開」をクリックします。

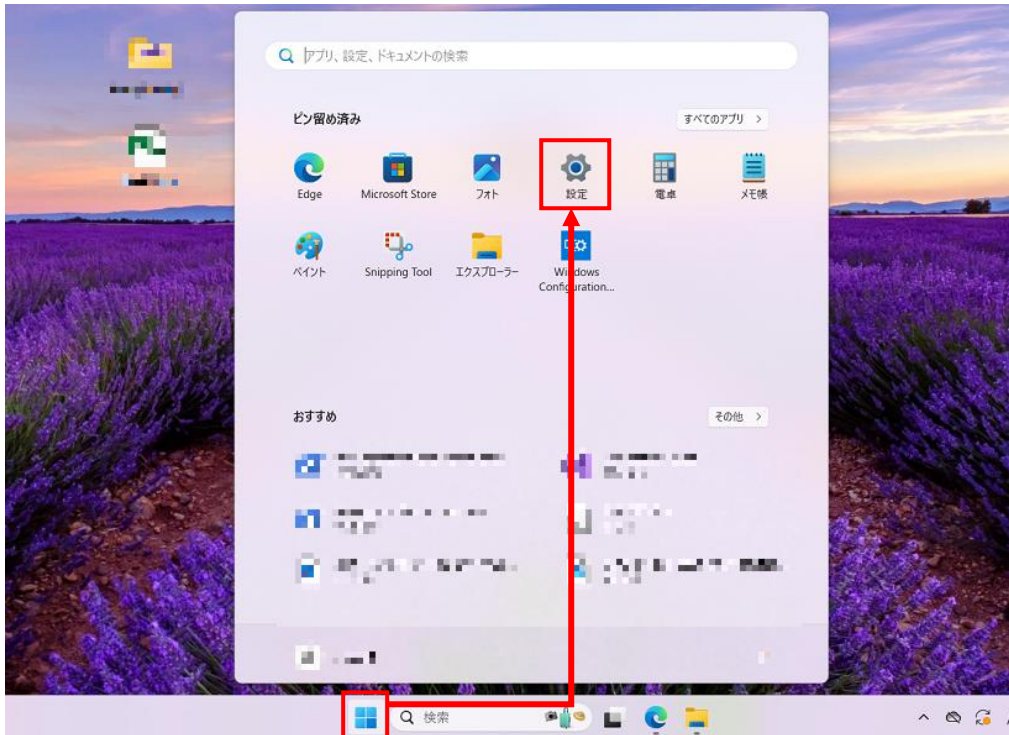


展開後のファイルを [II プリンタードライバーのインストール](#) で使用します。

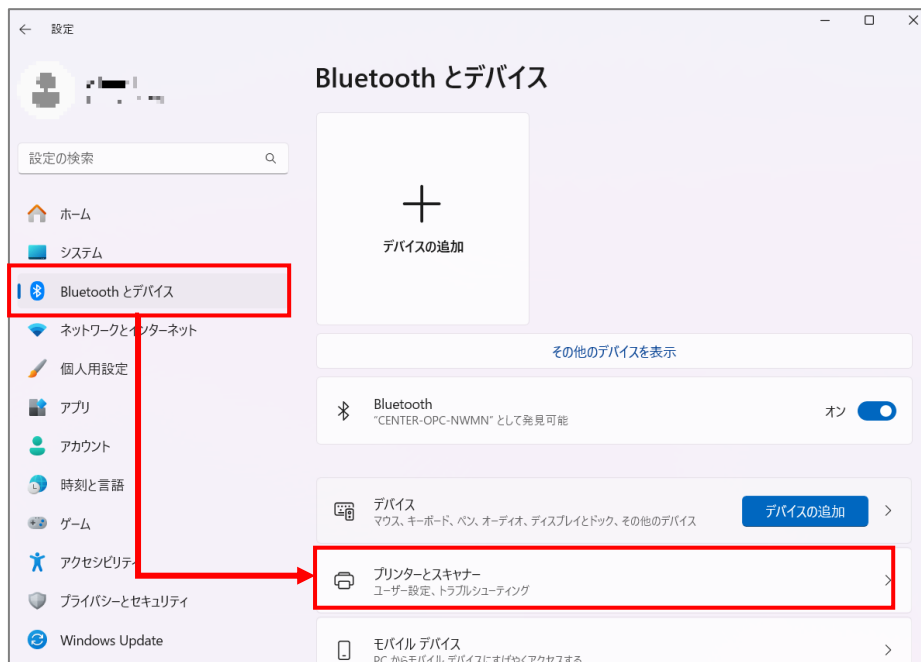


II プリンタードライバーのインストール

1. Windows アイコン>設定の順にクリックします。



2. Bluetooth とデバイス>プリンターとスキャナーの順にクリックします。



3. 「デバイスの追加」をクリックします。



4. 「手動で追加」が表示されますので、クリックします。
※「新しいデバイスの追加」が表示される場合もあります。



5. 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



6. 「新しいポートの作成」にチェックを入れ、プルダウンから「Standard TCP/IP Port」を選択し、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター ポートの選択

プリンター ポートによってコンピューターがプリンターと情報を交換できるようになります。

既存のポートを使用(U): LPT1: (プリンター ポート)

新しいポートの作成(C):

ポートの種類: Standard TCP/IP Port

次へ(N) キャンセル

7. [ホスト名または IP アドレス]を入力し、[ポート名]に自動入力された文字列は削除します。

※プリントサービスを利用したいキャンパスの文字列を入力します。

← プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類(T): TCP/IP デバイス

ホスト名または IP アドレス(A): o-prsite101.ad.oit.ac.jp

ポート名(P): o-prsite101.ad.oit.ac.jp ← 削除

プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバーを自動的に選択する(Q)

次へ(N) キャンセル

ホスト名

- 大宮: o-prsite101.ad.oit.ac.jp
- 枚方: h-prsite101.ad.oit.ac.jp
- 梅田: u-prsite101.ad.oit.ac.jp

8. [ポート名]を入力し、[プリンターを照会して・・・]のチェックを外し、「次へ」をクリックします。

※プリントサービスを利用したいキャンパスの文字列を入力します。

← プリンターの追加

ホスト名または IP アドレスを入力します

デバイスの種類(T): TCP/IP デバイス

ホスト名または IP アドレス(A): o-prsite101.ad.oit.ac.jp

ポート名(P): KNM_omiya-byod

プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバーを自動的に選択する(Q)

チェックを外す

ポート名
大宮:KNM_omiya-byod
枚方:KNM_hirakata-byod
梅田:KNM_umiya-byod

次へ(N) キャンセル

9. 画面が切り替わるまで待ちます。

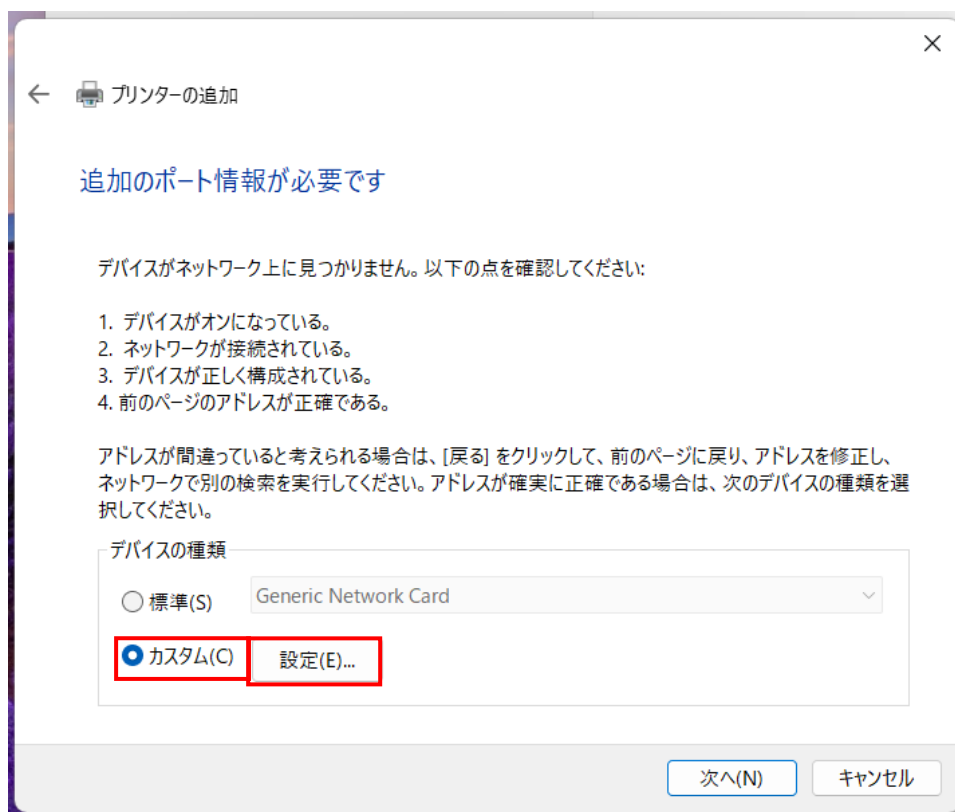
← プリンターの追加

TCP/IP ポートの検出

TCP/IP ポートの検出中...
検出が終了したら、Windows で自動的に次のページに進みます。

次へ(N) キャンセル

10.「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックします。



11. プロトコル、LPR 設定を画像のとおりを設定し、「OK」をクリックします。

標準 TCP/IP ポート モニターの構成

ポートの設定

ポート名(P): KNM_omiya-byod

プリンター名または IP アドレス(A): o-prsite101.ad.oit.ac.jp

手順 7・8 で入力した値が入った状態

プロトコル

Raw(R)

LPR(L)

チェックを入れる

Raw 設定

ポート番号(N): 9100

byod-W と入力

LPR 設定

キュー名(Q): byod-W

LPR バイト カウントを有効にする(B)

チェックを入れる

SNMP ステータスを有効にする(S)

コミュニティ名(C): public

SNMP デバイス インデックス(D): 1

検索 OK キャンセル

12. 「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

追加のポート情報が必要です

デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください:

1. デバイスがオンになっている。
2. ネットワークが接続されている。
3. デバイスが正しく構成されている。
4. 前のページのアドレスが正確である。

アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る] をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。

デバイスの種類

標準(S) Generic Network Card

カスタム(C) 設定(E)...

次へ(N) キャンセル

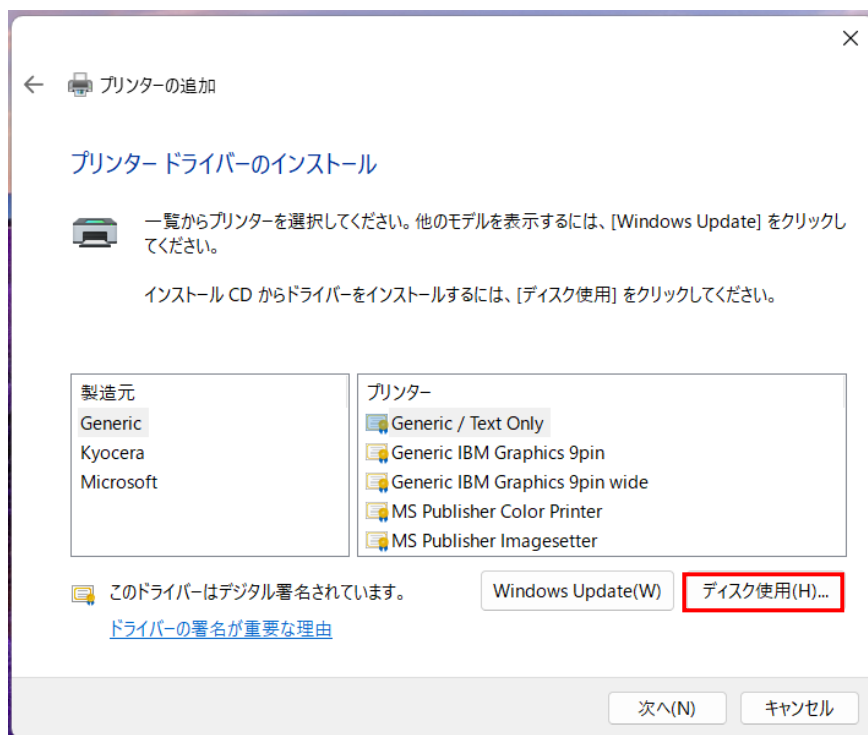
この表示が出た場合は、「OK」をクリックします。

エラー

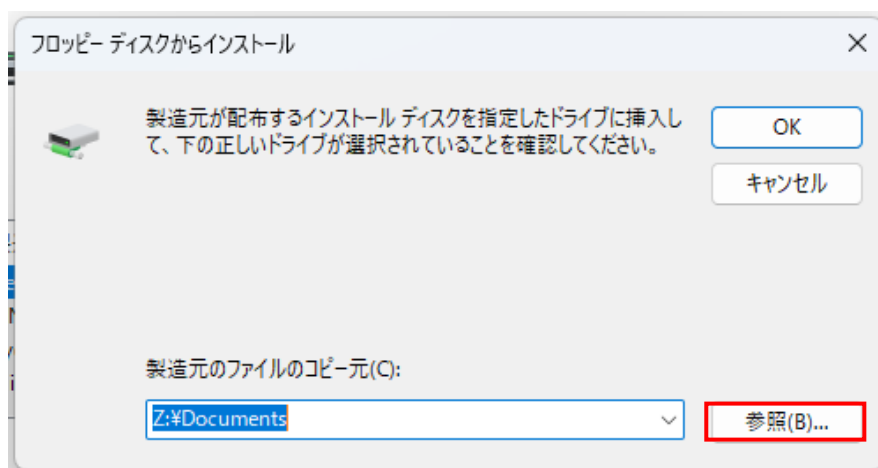
既に存在するファイルを作成することはできません。

OK

13.「ディスク使用」をクリックします。

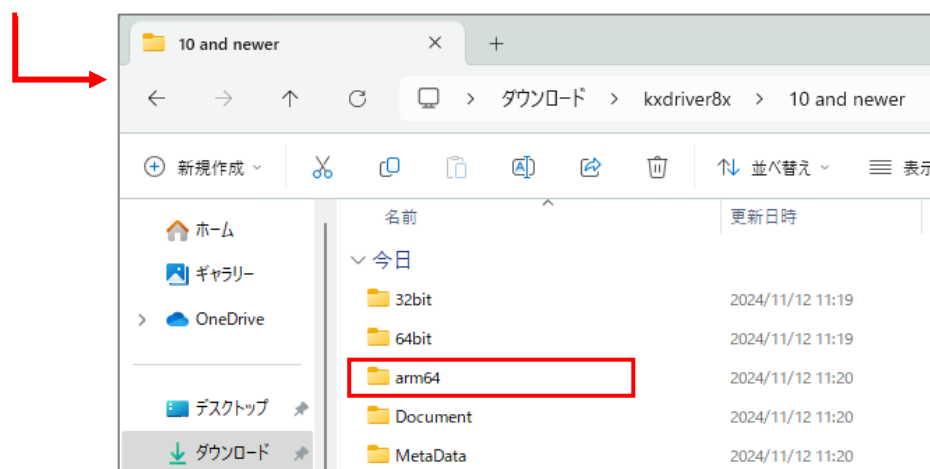
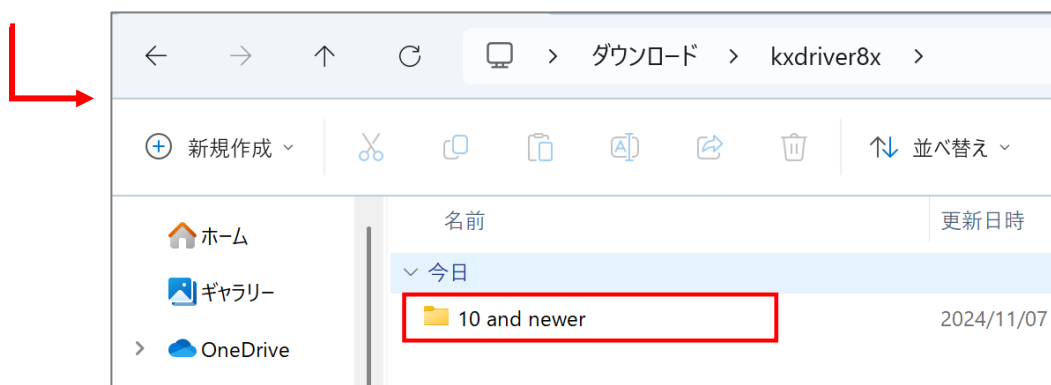
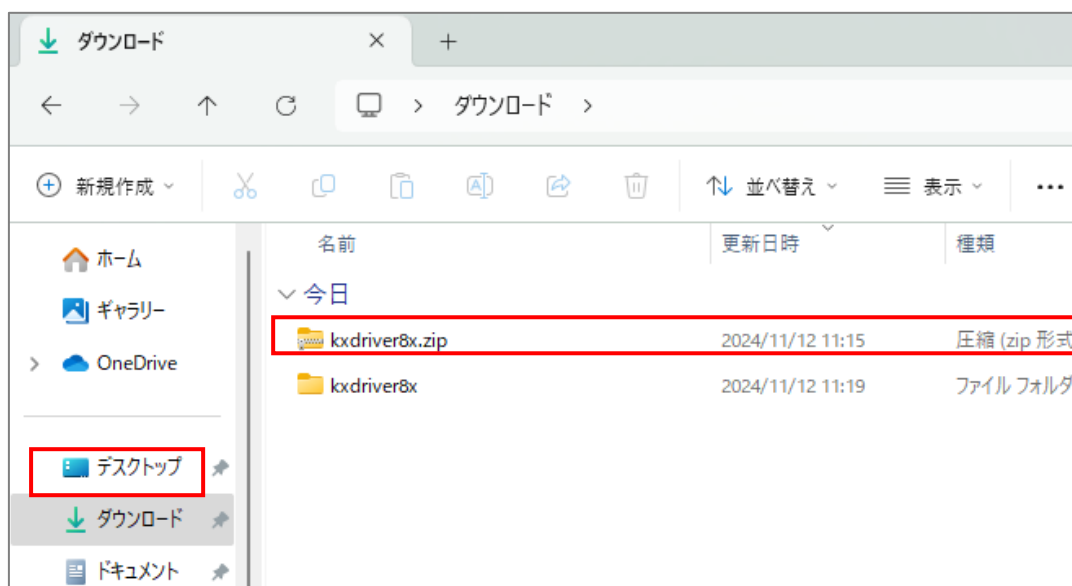


14.「参照」をクリックします。

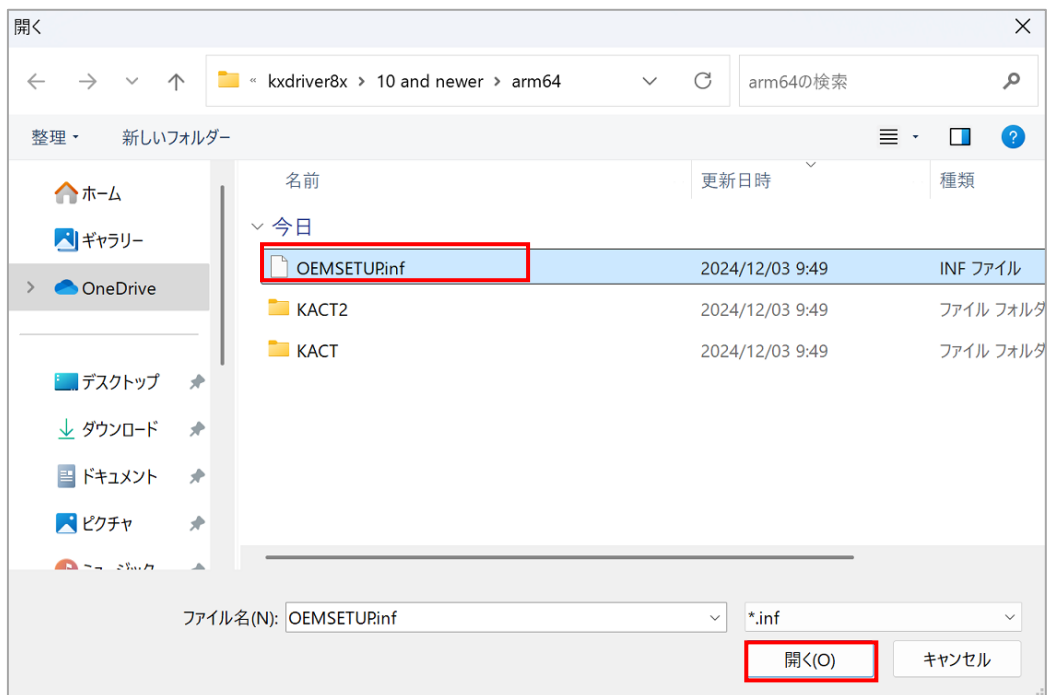


15.ダウンロードフォルダに保存したファイルを以下の順番で展開します。

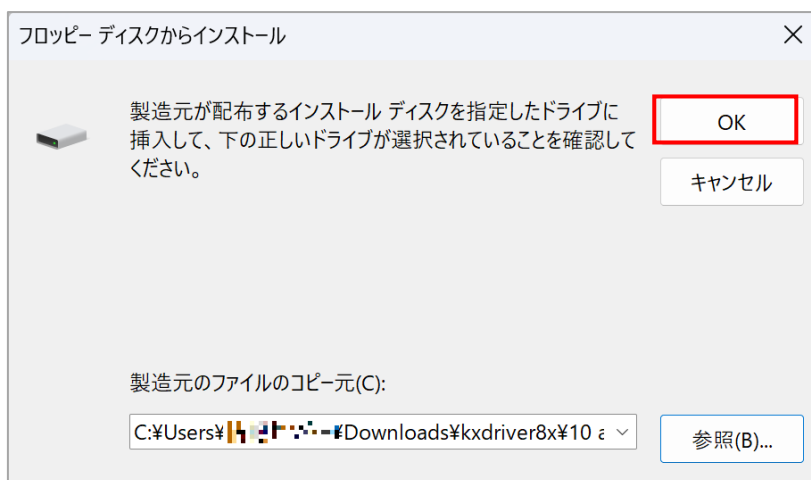
※フォルダ構成は変更になる可能性があります。



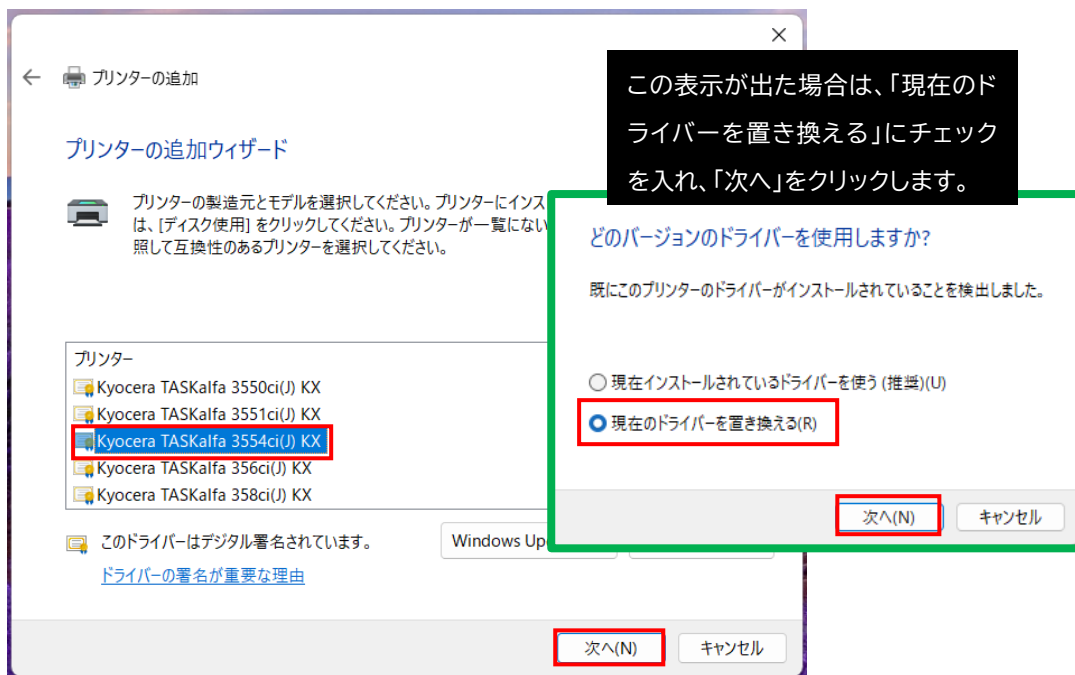
16.「OEMSETUP.inf」をクリックで選択し、「開く」をクリックします。



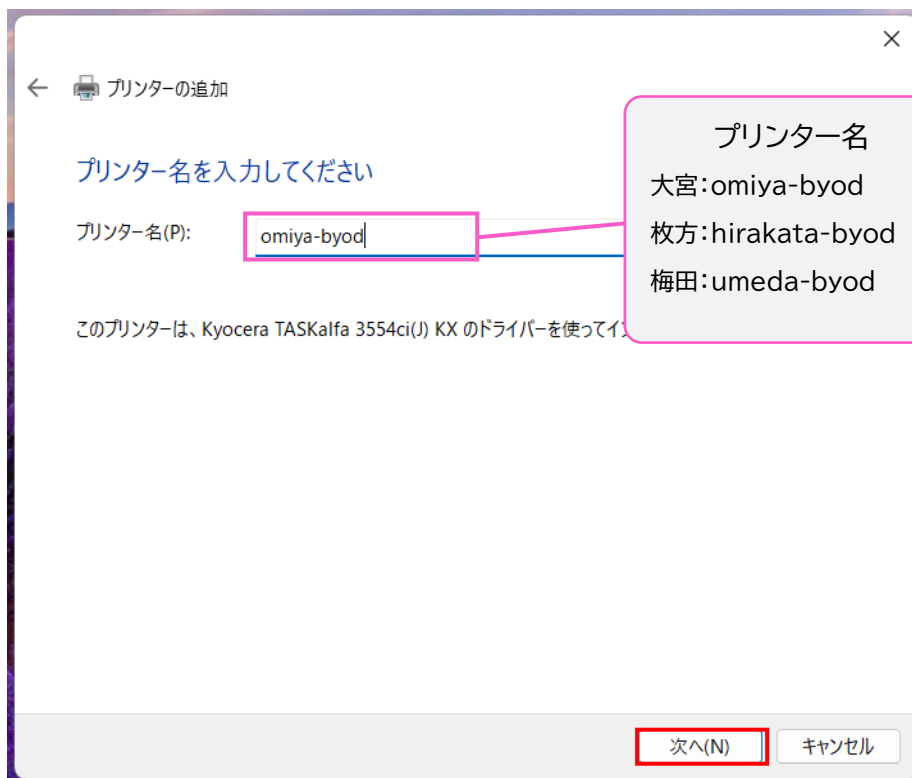
17.「OK」をクリックします。



18.「Kyocera TASKalfa 3554ci(J) KX」を選択し、「次へ」をクリックします。



19.プリンター名を入力し、「次へ」をクリックします。



20. 「このプリンターを共有しない」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

← プリンターの追加

プリンター共有

このプリンターを共有するには、共有名を作成する必要があります。推奨されている名前を使用するか、または新しく名前を入力してください。共有名はほかのネットワーク ユーザーによって参照されます。

このプリンターを共有しない(O)

このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする(S)

共有名(H):

場所(L):

コメント(O):

次へ(N) キャンセル

21. 「完了」をクリックします。

← プリンターの追加

omiya-byod が正常に追加されました

プリンターが正しく動作していることを確認したり、プリンターのトラブルシューティング情報を表示したりするには、テスト ページを印刷してください。

テスト ページの印刷(P)

完了(F) キャンセル

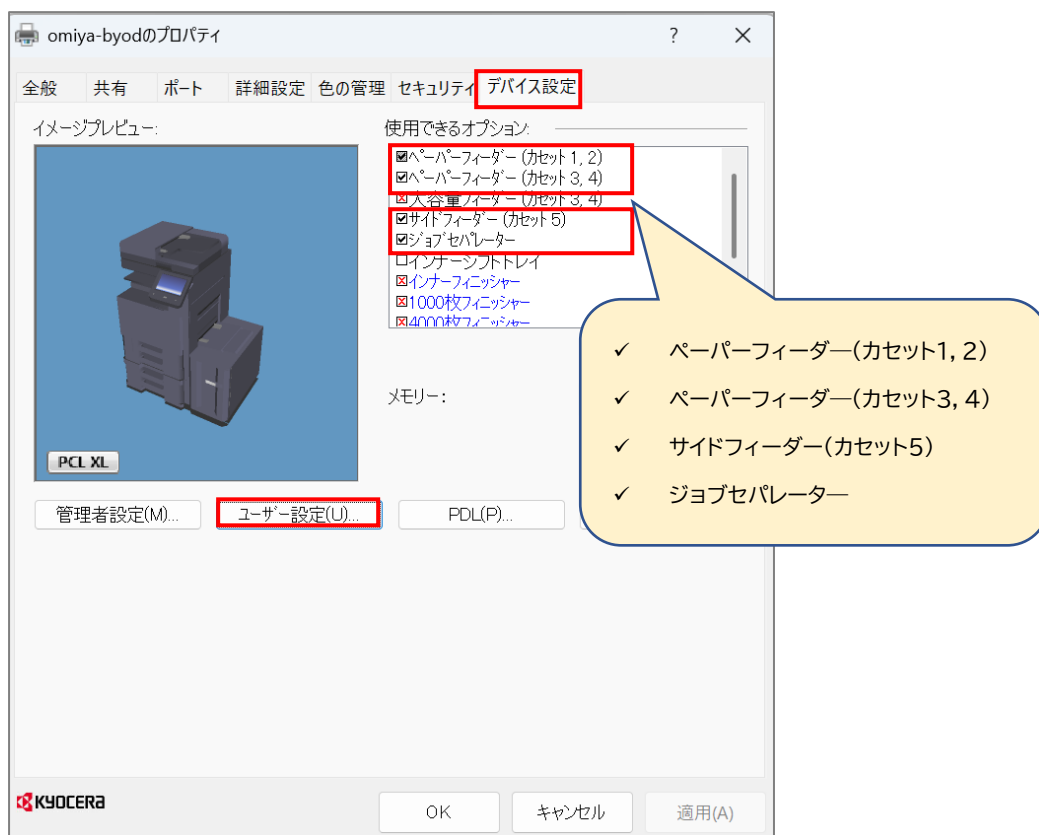
22.追加したプリンターをクリックします。



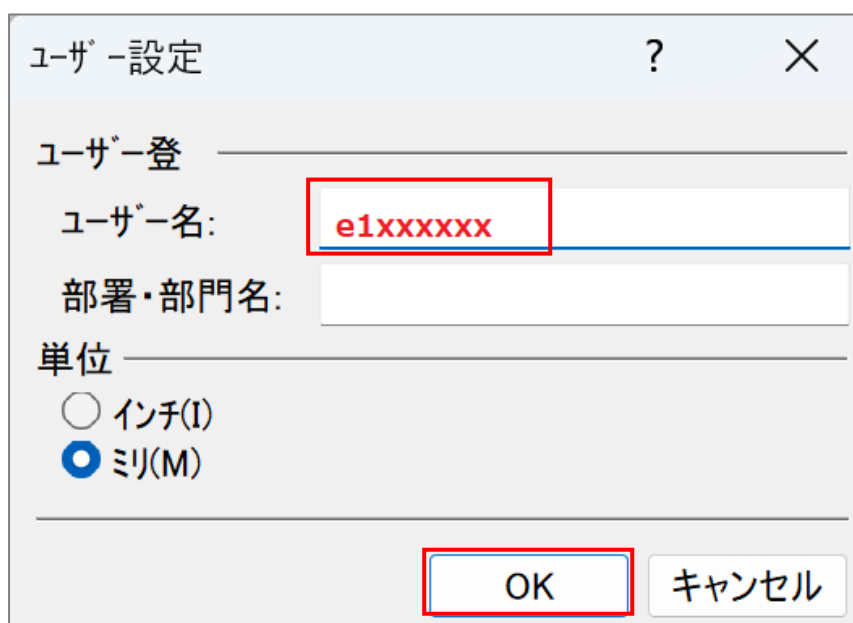
23.「プリンターのプロパティ」をクリックします。



24.「デバイス設定」タブに切り替え、以下の4つにチェックを入れ、「ユーザー設定」をクリックします。



25.ユーザー名を入力し、「OK」をクリックします。



26.「OK」をクリックします。



以上